

平成 21 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社Eストアー  
代 表 者 代表取締役 石村 賢一  
コード番号 4304 ヘラクレス  
問い合わせ先 取締役兼執行役員  
コーポレートセンター担当  
柳田 要一  
T E L 03-3595-1106

## 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、業績の予想を開示しておりませんが、平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、大阪証券取引所の指導に基づき、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前年同期実績 (A) (平成 21 年 3 月期第 2 四半期 累計期間業績)	百万円 1,585	百万円 210	百万円 211	百万円 114	円 銭 2,460 19
今回発表実績 (B) (平成 22 年 3 月期第 2 四半期 累計期間業績)	1,773	275	278	162	3,572 29
増減額 (B - A)	187	65	66	48	—
増減率 (%)	11.9	31.0	31.4	41.8	—

#### 2 差異が生じた理由

当第 2 四半期累計期間につきましては、直販契約件数の順調な増加などにより、当社サービス全体での新規契約件数は 4,653 件、累計契約件数は 48,038 件となり、顧客数に応じた利用料収入（ストック）が堅調に推移いたしました。また、新規顧客の早期開店の促進や、ショッピングフィードの送客効果により、顧客の流通総額が増大し、顧客の売上高に応じた収入（フロー）が好調に推移した結果、売上高は前第 2 四半期累計期間に比べ 187 百万円（対前年同期実績 111.9%）の増加となっています。

営業利益、経常利益につきましては、前事業年度から引き続き行っているフロー収益造りに向けての各種施策の効果が徐々に成果として表れたことと、広告宣伝費の効率的な投下により、利益率が向上し、営業利益 65 百万円（対前年同期実績 131.0%）、経常利益 66 百万円（対前年同期実績 131.4%）とそれぞれ増加いたしました。なお、四半期純利益につきましては、前年同期に特別損失として投資有価証券評価損 15 百万円を計上したものが影響し、48 百万円（対前年同期実績 141.8%）の増加となっています。

以 上